

## 第1回 全員協議会会議録

令和2年2月27日(木)  
委員会 議室

### ○会議日程

- 1 開会宣告(11時38分)
- 2 協議事項
  - (1) 第2回議会運営委員会の結果報告
- 3 その他
  - (1) 3月議会終了後の懇親会について
  - (2) 平成31年度予算の3月補正予算について
  - (3) 道外視察研修について
  - (4) コロナウイルス対策室について
  - (5) 3月定例議会中の黙祷について
  - (6) 西天北五町衛生施設組合議会定例会の報告について
  - (7) 幌延町の第6次総合計画の審議委員の出席者変更について
  - (8) 幌延町まち・ひと・しごと創生会議の議事概要について
- 4 閉会宣告(12時00分)

### ○出席議員(6名)

|     |    |      |
|-----|----|------|
| 議長  | 8番 | 高橋秀之 |
| 副議長 | 7番 | 西澤裕之 |
| 議員  | 2番 | 斎賀弘孝 |
| 議員  | 3番 | 植村敦  |
| 議員  | 4番 | 無量谷隆 |
| 議員  | 6番 | 吉原哲男 |

### ○欠席議員(1名)

|    |    |      |
|----|----|------|
| 議員 | 1番 | 富樫直敏 |
|----|----|------|

### ○議会事務局出席者

|       |       |
|-------|-------|
| 事務局 長 | 植村美佐子 |
| 主 事   | 満保希来  |

高橋議長

それでは、第1回の全員協議会を開催いたします。

協議事項(1)、第2回議会運営委員会の結果報告につきましては、別紙に付いておりますので、それをご覧になっていただければと思います。

省略させていただきます。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

協議事項は後無いんで、その他っていうことで、3月議会終了後に懇親会っていうことでしたんで、こういう情勢なんで、一応中止っていうことにしたいと思うんですけど、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

そしたら中止っていうことにさせていただきます。

その他、他にありますか。

植村議会事務局長

事務局のほうから、3月補正と新年度予算の査定の結果について、変更がありましたのでご説明いたします。

まずは平成31年度予算の3月補正予算ですが、例年この時期の補正は、事業の精査によるものが主となります。

今回議会費では、岡本議員の逝去に伴う欠員ということで、1名分の報酬、費用弁償などを2ヵ月分減額しています。

その他視察研修経費の精査などで、合計162万1千円の減額補正となっています。

次に、令和2年度の新年度予算ですが、1月に理事者査定を終え、予算案が確定しています。

昨年12月に概要ご説明いたしましたが、その後、議員1名欠員ということで、その分の報酬等の経費を削減しております。

また、令和2年度のまちづくり常任委員会の道外視察について予算要望したところ、認めていただきまして、詳細は添付しております資料のとおりですが、4泊5日で、山陰地方を予定しています。視察箇所としては、鳥取県鏡野町の人形峠環境技術センター、鳥取県伯耆町の使用済み紙おむつ燃料化事業、島根県雲南市の地域活性化事業などです。時期としては10月ごろと考えていますが、議員全員と事務局随員2名分で羽田経由、鳥取、島根は借上げバスでの移動とし、費用弁償、借上料などで、193万7千円となっています。

議会費全体では、4,884万9千円の新年度予算となり、前年度比190万2千円の減額となっております。

以上が議会費の新年度予算の要求概要となります。

その他といたしまして、今コロナウイルスの関係で町のほうでも対策室、本部ではなくて、まだ対策室ということで、保健福祉課を主管課として、総務財政課、教育委員会、消防、診療所などが情報交換をしながら対策をしているところなんですけれども、議会といたしましてもこの時期の議会だということですので、もしも関係者の中で感染者が出たらどうするかということをちょっと話をしております、とりあえず3月10日、過半数の出席があれば、まず開会して議案の上程を受けると。罹患して欠席している人とかが増えていた場合は、開

会してすぐ休会を取って、しばらく様子を見てから、3月中に日にちを改めて再開をするという形で対応していこうという話になっていますので、とりあえず予算の関係がありまして、3月10日にはどうしても開きたい。上程さえしてしまえば、可決するのは後でもいいんですけども、予算の上程を自治法で4月1日前の21日前までにやらなきゃいけないということが決められているので、とりあえず何としてでも4人出てもらってやりたいということで一応考えております。状況を見てその辺の判断。そこまではいかない。まだうちの町内では発症者いませんので、そこまではいかないのかなと思いつつも。

それとですね、3月11日、2日目。14時46分。3.11の黙祷でございます。今回9周年になりますので、今回も14時46分前後、休憩をとっていただいて、黙祷を捧げたいと思います。国のほうといたしましても、この追悼式を10周年を目途についでということですので、町としてもそれに合わせて、来年10周年の黙祷したら、その後は終わるという形になろうかなと思っておりますので、そちらのほうの協力もお願いいたします。

事務局から以上です。

高橋議長

わかりました。以上、他に。

西澤副議長

今月の20日に西天の議会がありまして、令和2年度の予算を可決しております。

その中で電気料金について、遠別町のほうから新電力の検討してみたらどうかということで、調査をし、検討するということになっております。

新年度の予算なんですけれども、10億2,318万9千円となっております。

以上です。

高橋議長

はい。ありがとうございました。他に。

植村議員

前回の時に忘れていて、皆さんに諮ってもらいたいなってことができましたので、今日、全員協議会で話したいのは、私、情報推進常任委員長をやったんですけども、幌延町の第6次総合計画の委員に斎賀委員長と2人で任命されております。

たまたま今回、常任委員長を降りたということもありまして、この任務を他の方にやってもらいたいということで、議長にお諮りをお願いしたいと思っております。

高橋議長

わかりました。

今、植村議員から岡本さんの死去に伴い、それぞれの役職がちょっと代わって、今まで情報推進委員長として委員として出ていたんで、今度情報推進委員長が吉原さん代わったんで、代わってほしいということなんで、どうでしょうかね。

役場のほうはいいんですよね、代わっても。

植村議員

担当課のほうに連絡してもらえれば、町長のほうに連絡といくと思います。

高橋議長

よろしいですか。そういうことなんで。

(吉原議員「はい」)

そしたら、吉原さんに変更させてもらって、町長のほうに言って手続してもらいますんで、よろしく願いいたします。

西澤副議長

もしあれだったら、この間あった会議。

植村議員

創生会議の方は一昨日。

西澤副議長

まち・ひと・しごと。

斎賀議員

個人的な感想ですけど、決まったことはなかったんですけども、相変わらず参加者は全然。オブザーバーばかり集まって、一般の公募というか、人たちはあんまり来てなかったんですよね。その中では、藤井さんぐらいじゃないですか。あとは皆、長が付く人ばかりだったからオブザーバーなんだろうなと思って見てたんですけども。

その中で皆でワーキングをやって、その会議からは拠点ではなくて、もう道の駅という名前を使ってましたね。道の駅という名前を使えば、いろんな補助も受けやすいし、道の駅という何か特殊なスタンプラリーがあるようなので、それを目指して皆が来てくれるから、是非道の駅という名前を使って、拠点をやっていきたいなという事務局の説明というか、今後が過程が流れだったんですけども、どういう道の駅にしたいかっていう、拠点ね。話し合いが2テーブルに分かれたんですけども、2テーブルに分かれてどちらも共通してたのは、その場で出たのは、拠点は道の駅で良いんだけど、前々から言ってた天塩川の橋のところには造らないと。街に造りたい、街の中に。何故ならば、前々の委員会から老人の行くお風呂、お風呂もだいぶ傷んできているので、建替えしたいんですよ。そういう意見もあったということから、両方のテーブルから出たのは、お風呂をメインにして、そこに町民の皆さんが集う。町民というのは、特に両方のテーブルが言ったのは高齢者。高齢者が集ってもらえるような拠点の道の駅にしては良いんじゃないかという意見が出たんですよ。

そのためには何が必要かって言ったら、鉄道網の代わりに多分そこからバス、将来的ですよ、皆、夢を語っただから。バスが町内に出るようなバス、観光地に行くようなバスの発着場にしたり、それからお風呂とかそこで語れる場があって皆でリラックスできる、軽食というか何かできるような感じにしたら良いんじゃないかとか、そういうふうな意見が出て、あと数回やって構想を決めたいと言ってましたね。構想を決めて、それから計画ですね。計画を練ると。数回で構想決めて、これまでであった意見を参考にしながらしたいと。

そのテーブルでは残念ながら、道の駅を造ってドライバーさんが休むとか、そういう意見は無かったから、もしかしたら変わっちゃうんじゃないかなと思ったんだよね。私の意見としてはね。両方のテーブルとも、参加した人は皆、お風呂メインって言ってる。高齢者のためにと言ってる。

事務局っていうか藤田課長さんからは具体的に案があったんですよ。もう具体的な場所は駅だと。駅の後ろにスペースがあるので、駅の前から後ろにエレベーターを取付けして、そこから移動させて。

(西澤副議長「エレベーターって」)

高橋議長

線路向かいに、元町のほうに駐車場とかを造ったり、人の流れをエレベーターで。

斎賀委員

そしたら、裏のほうも車がいっぱい来てもあんまり騒音、皆に迷惑かけないんじゃないかって。道の駅を造るのはやっぱりおいしいものがないと来ない。

そういう課長の考えを言ったのか、それとも役所の職員でつくった本部の会議のまとまった意見を言ったのかもわからないけども、そういう構想、思いを話されたんだけど、参加してる委員からは、それに賛同するような意見はなかったなど。

高橋議長

ちょっと無理だもん。エレベーター造るって言ったら1億で済まないよ。

西澤副議長

エレベーターっていう発想がわかんない。駅がこっちにあって・・・。

高橋議長

裏に駐車場から建物を全部建てたとするしょ。こっちの、街から行くときに道は遠いしょ、ぐるっと回るから。それで、そこにエレベーターを造れば。

西澤副議長

エレベーターを造って、ここを渡るってイメージ。

高橋議長

そう、そう。

斎賀議員

事務局としてはあと2、3回こういう集まりをやって構想を立てたいっていうのは。その時には宗谷の開発局から道の駅の専門家の人が来て、道の駅をするには必要条件は駐車場とかトイレだとか、そういう説明はしました。

それで、地域の人の意見を聞いてその方もびっくりしてたんですね。高齢者のための風呂とかっていう声があったんで、地域の人是一生懸命考えてることに、私たち宗谷開発建設部としてお役に立てることがあったら、お役に立ちたいという話をいただきました。それで会議は終わりました。

高橋議長

一体型でやるか、単独でやる。単独でやるっていうことは町。一体型っていうことは、国とのそういうところと一緒にやる。

無量谷議員

だけどそれ言ったら開発予算っていうか国の予算が1番引っ張りづらいかなっていう感じがするんだよね。だから、ある程度開発は一応予算持ってるのは、川の開発と道路の開発でやれば、合併してるからってすごく予算付けやすい。だから、前に議会で行った上士幌の建替えした場合は、今回建替えした段階で道路の、車のための災害の拠点という形で、発電機からある程度のそれらの車に関することを防災ということで、防災拠点という形でやってたような気がするんだよね。だから、幌延単独でやるとなると、そう莫大な経費とそれだけのスペースがあるかないかという感じで、今ちょっとちらっと聞いた、エレベーター2本建ててやるとなれば半端でない金額になる。それだけで俺は建物本体ができちゃうんじゃないかなっていう感じがしてるんだけど。

高橋議長

単独って言っても、町が単独でやるわけじゃないから。単独ってそこが道が入ってきたりする。国は入らないだけだから。国も道の駅っていうふうに名前を付けるための要素があって、3点か4点だかある。それが満足すれば道の駅って名乗れる。

やっぱり看板だから、それは名乗ったほうがいいんじゃないかって。だからって言って、その開発の予算を持ってこれないのかって言ったら、その要素に合えば持ってこれる。使えるものと使えないもの、比率もあるんだけど、要するに。だから、こっち側に造ったからって、国の予算が使えないよってわけじゃないの。ただ、道道とか国道から離れるから、さっき言った上士幌みたくああいうのじゃないんだけど、使えることは使える。だから、単独って言っても、町が全部出して建てるんじゃないくて、道のお金とかも入れれる。それを通して国のお金も入れれるのさ、単独でも。その考え方一つなんだ。

無量谷議員

道路から離れるっていうのは、なかなかこう、お客さんいない中で、離れるということはすごくケアしなきゃならない。

高橋議長

だから俺も言ったんだけど、今回は外から来る人をメインにするのか、それとも町の人をメインにするのかって。俺は町の人をメインにして、さっき言ったけど交流の場、そして、風呂とお年寄りっていうか、昔あったべや、年寄り街の中歩いてて、どっか休むとこないんで、欲しいよねって言ってた。そういうものを併せた、その交流の場に町民を主にした交流の広場がいいんじゃないのって俺は言ったんだよ。俺は観光協会として出てたんだけど、ただ、それは本決まりじゃないから、最後までちょっと最後までいなくて、最後に聞いたら、街中がいいよねっていうので、そして交流の場でお風呂っていうのが出てきたっていうのがテーブル2つやってて、最終的にそういう意見が多かったんだろうなって思って聞いてたけど。

したから、まだまだこれからどう造るかにによってお金の出てくる引っ張り場所っていうのは、まだまだどんどんどんどん変わってくる。多分これ1年、今年やって来年ぐらいやって、基本設計やって実施設計やれば4年か5年かかる。そして工事入れたら5年間かかってくる。そのぐらいのスパンで考えてるみたいなんです。

だから今言って、この間集まったからって、はいそれでもうこれがこうだからこうきますよじゃなくて、あれはまだ皆の本当に初めて聞いた意見じゃないかなって、出し合った。来た人だけだけど。

西澤副議長

それが4年続いているんですもんね。

斎賀議員

もっと続いている。もう本当今年開館の予定だったんだから。

高橋議長

多分それやると、街の中に造ると、地域交通もそこを何かにか拠点にしていけないと駄目だから、そっちの面も考えていけないと駄目じゃないかなと言ってたけど。

今、町民の皆さんの意見聞くとするんで、好きなことばあーって書けばいいんじゃないかなと。

斎賀議員

こうだったらいいねっていう話を皆聞いている。

高橋議長

そうそうそう。理想だからさ、今回話したのは。こうなればいいねっていう理想を話しただけだから。

植村議会事務局長

だから最初はね、どんと大きくして、そこから削っていくしかないんですよ。

高橋議長

そうそうそう、そういうことです。

だから、軽食喫茶みたいなやりたいねって思うけど、そこでやってくれる人いなかったら、駄目だし、指定管理者だって浜頓別行って商工会でやってたけど、永瀬君行って聞いてたら、やあ、人1人募集したんだけどいなくて大変だって。入らなきゃ良かったって言ってた、職員。職員がやっています。朝晩の開け閉め。いないから。

西澤議員

線路の向こうってどこ。

高橋議長

矢野さんの土地の向こうさ。あっちに造って。

(植村議員「元町」)

元町。

それは藤田課長の構想だから。課長が意見言ったときに、町の意見っていったらこういうのもありますよっていうのが、藤田さんの意見だから。

高橋議長

いいですか。

また始まったばかりなんで。また何かあれば出てくるんで、報告してもらうようにしますんで、すいませんけど。

そしたら、これで全員協議会終わらせていただきます。

(12時00分 閉 会)

以上、相違ないことを証するため署名する。

議 長 高 橋 秀 之

主 事 満 保 希 来